

岡山市特定教育・保育施設等重大事故検証報告書の概要

○検証会議の開催

岡山市児童福祉審議会児童処遇専門分科会において令和4年3月16日から11月2日まで4回の検証を行った。

I 検証の目的

令和3年10月、岡山市内の認可保育園で発生した遊具死亡事案について、事実を調査、把握した上で、発生原因の分析を行うことにより、再発防止に向けて務めるべき必要な事項について提言を行う。

II 事案の概要

令和3年10月14日午前10時20分頃、市内の認可保育施設において、2歳9か月の男児が本施設の複合遊具の隙間に首が挟まり、意識のない状態となっていることに保育士が気づいたため、救急車の要請を行った。救急隊によって緊急搬送されたが、翌月11月15日に搬送先の病院で死亡が確認された事案である。

III 事案における課題の抽出と分析

- 1 当日の保育に関する事
- 2 保育体制に関する事
- 3 遊具に関する事故防止及び安全対策に関する事
- 4 危機管理研修の実施に関する事

IV 再発防止策の提言

- 【提言1】遊具点検の実施と点検結果の活用
- 【提言2】子どもの視点での点検及び指導
- 【提言3】保育体制の充実
- 【提言4】研修の充実
- 【提言5】危機管理マニュアルの充実